



羅針盤



井川 健
Ken Igawa

獨協医科大学医学部皮膚科学講座 教授

アレルギー診療に興味のある先生に贈る，この1冊

フレッシュャーズのみなさん，皮膚科へようこそ。

まずは，皮膚科を一生の仕事にしようと選んだあなた方の決意に乾杯です。私は，皮膚科ほどその中身が広大な学問はないんじゃないか，と思っておりまして，しかも皮膚科はどの分野も非常に面白く，やりがいがあること間違いありません。

今回のフレッシュャーズ特集は「はじめようアレルギー診療！」としましたように，私自身は，どちらかといえば，広大な皮膚科の中でもとくに，アレルギーの分野を専門にしております。実を言えば，今回の特集をみていただければある程度承知してもらえと思いますが，「アレルギーの分野」自体もまた，非常に広大な分野です。しかも，内科，小児科，耳鼻科，眼科，さらには基礎医学など，皮膚科以外の多くの先生方が参入して，日々切磋琢磨している分野でもあります。

さて，そのようなアレルギー診療ですが，多くの診療科が入り乱れる中で，皮膚科の果たす役目というのは決して軽いものではありません。皮膚科医は，「湿疹（接触皮膚炎）」や「アトピー性皮膚炎」，「蕁麻疹」といった，それこそ，アレルギー疾患の代表として一般にも知られ

ているような疾患を取り扱う「アレルギー診療のスペシャリスト」であるべき医師であり，また，どの臨床診療科に所属しても必ず経験する，「薬疹」を主体的に診る，という重要な役割を果たします。

アレルギー疾患を専門にしよう，と思わなくても，皮膚科外来にいらっしゃる患者さんのうち，上記にあげたアレルギー性皮膚疾患を主訴に受診される方々はかなりの割合を占めますので，これらの疾患に関する知識は，皮膚科の外来で患者さんを診るために必須の知識でもある，ということになります。

アレルギー疾患の病態機序の解明や，治療法開発に必要な基礎研究から得られる知見は，ここ10年ほどのうちに大きな進歩を遂げており，疾患へのアプローチ，治療法などが以前のものとは大きく変わってきている部分も出てきております。

今回の特集は，そのようなアレルギー性皮膚疾患の診療を遂行していくうえで，わずかながらも，指標あるいはさらに深く勉強していくきっかけになれば，という思いで企画させていただきました。